

医師用

☆医師の診断・指導を受け、医師に記入をお願いしてください。

意見書

わらしべ第二保育園・園長殿

園児氏名 _____

平成 ____年 ____月 ____日生（満 ____歳 ____カ月）

病名 「 _____ 」

____月 ____日 発症、 ____月 ____日から症状も回復し、集団生活に支障がない状態になったので登園可能と判断します。

____年 ____月 ____日

医療機関 _____

医師名 _____ 印またはサイン _____

保育園は乳幼児が集団で長時間生活を共にする場です。感染症の集団発症や流行をできるだけ防ぐことで、一人一人の子どもが一日快適に生活できるよう、下記の感染症について意見書の提出をお願いします。

感染力のある期間に配慮し、子どもの健康回復状態が集団での保育園生活が可能となる状態となつてからの登園であるようご配慮ください。

感染症名	感染しやすい期間	登園のめやす
麻疹（はしか）	発症 1 日前から発疹出現 4 日後まで	解熱後 3 日を経過してから
インフルエンザ	発症 24 時間前から後 3 日間が最も多い（量は減少していくが 1 週間ほどは注意が必要）	発症後 5 日間を経過し、かつ解熱後 3 日を経過してから
風疹	発疹出現の数日前から発疹出現の 5 日後まで	発疹が消失してから
水痘（水ぼうそう）	発疹出現 2 日前から痂皮形成まで	すべての発疹が痂皮化してから
流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	発症 2 日前から耳下腺腫脹後 5 日後まで	耳下腺、顎下腺、舌下腺の腫脹が発現してから 5 日を経過するまで。かつ全身状態が良好になるまで
結核		感染の恐れがないと医師が認めるまで
咽頭結膜熱（プール熱）	発熱・充血等症状が出現した数日間	主な症状が消え 2 日経過してから
流行性角結膜炎	充血、目やに等症状が出現した数日間	感染力が非常に強いため結膜炎の症状が消失してから
百日咳	抗菌薬を服用しない場合、咳出現後 3 週間を経過するまで	特有の咳が消失し、全身状態が良好であること（抗菌薬を決められた期間服用する。5 日間服用後は医師の指示に従う）
腸管出血性大腸菌感染症（O157 O26 O111 など）		症状が始まり、かつ、抗菌薬による治療が終了し、48 時間あけて連続 2 回の検便によって、いずれも菌陰性が確認されたもの
急性出血性結膜炎	ウイルスが呼吸器から 1~2 週間、便から数週間~数カ月排出される	医師により感染の恐れがないと認められるまで
髄膜炎菌性髄膜炎		医師により感染の恐れがないと認められるまで